

第7次地域管理経営計画書  
第7次国有林野施業実施計画書

(始良森林計画区)

計画期間

自	令和	8年	4月	1日
至	令和	13年	3月	31日

九州森林管理局



# 第 7 次 地 域 管 理 經 営 計 画 書

(始良森林計画区)

計画期間

自	令和	8年	4月	1日
至	令和	13年	3月	31日

九州森林管理局



## はじめに

我が国の国土面積の2割、森林面積の3割に当たる国有林野の管理経営は、森林経営の用に供するものとされた国有財産として、①国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、あわせて、②林産物を持続的かつ計画的に供給し、③国有林野の活用によりその所在する地域の産業の振興又は住民の福祉の向上に寄与することを目標として行うこととされている。

また、国有林野の管理経営を行う国有林野事業については、平成25年度から、それまでの特別会計により企業的に運営する事業から一般会計において実施する事業に移行し、民有林に係る施策との一体的な推進を図りつつ、公益的機能の発揮に向けた適切な施業や木材の持続的かつ計画的な供給等を推進してきたところである。

国有林野に対する国民の期待は、国土の保全や地球温暖化の防止、水源の涵養等の面が大きく、今後とも、公益的機能の維持増進を図っていく必要がある。また、民有林において、森林経営管理制度等による森林の経営管理の集積・集約化や森林環境譲与税を活用した森林整備等の取組が進められている中で、林業経営体の育成や市町村を始めとする民有林行政に対する技術支援などが求められている。

これらを踏まえ、国有林野事業は、冒頭の目標の下、森林・林業や国有林野事業に対する国民の多様な要請と期待を踏まえつつ、「国民の森林」として、公益重視の管理経営を一層推進するとともに、その組織・技術力・資源を活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献するための取組を進めていく。

本計画は、国有林野の管理経営に関する法律（昭和26年法律第246号）第6条第1項の規定に基づいて、九州森林管理局長が、国有林野の管理経営に関する基本計画に即し、国有林の地域別の森林計画と調和させ、あらかじめ国民の意見を聴いた上で、今後5年間の始良森林計画区における国有林野の管理経営に関する基本的な事項について定めたものである。

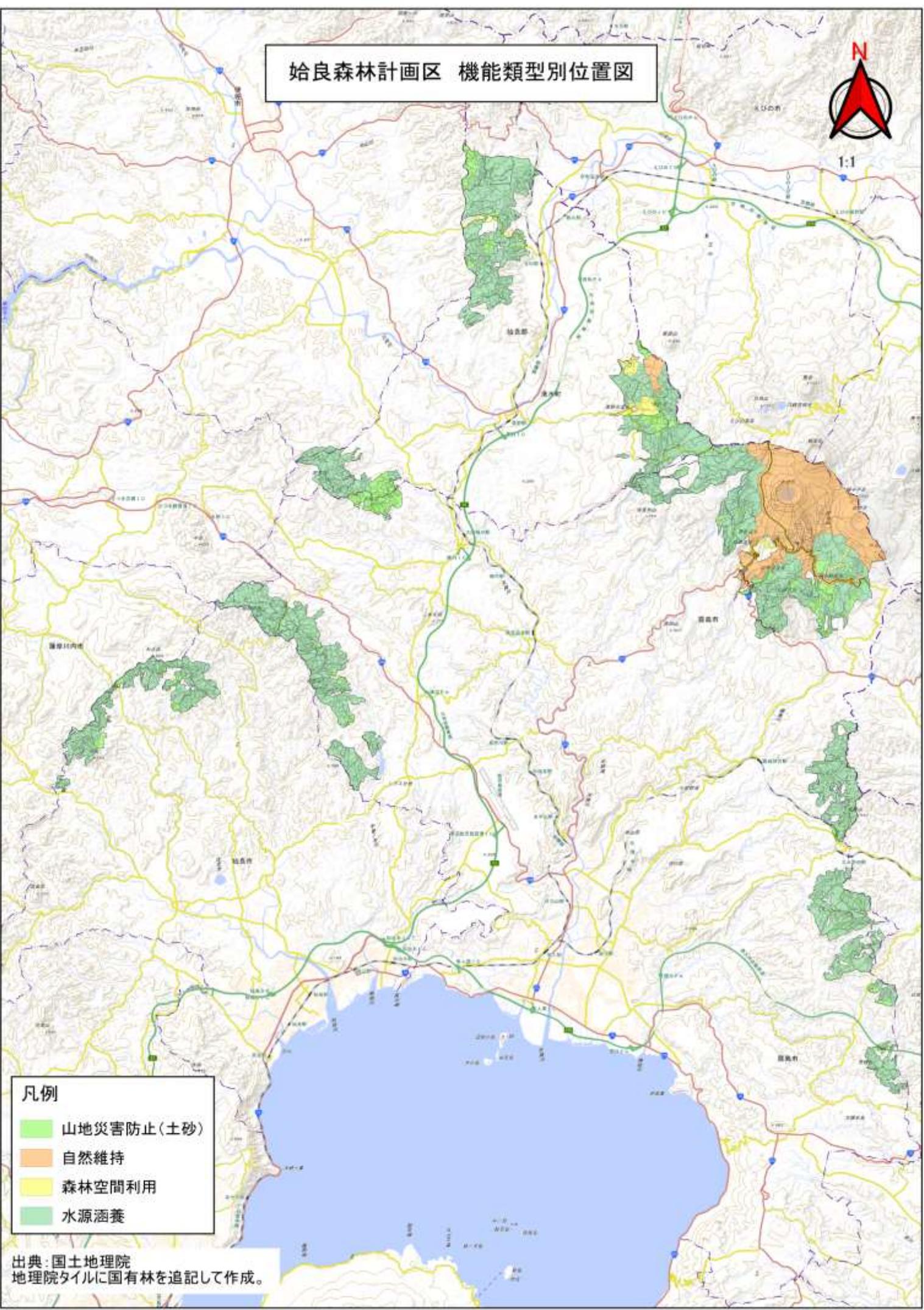
始良森林計画区における国有林野の管理経営は、関係住民の理解と協力を得ながら、さらに、関係行政機関と連携を図りつつ、この計画に基づいて適切に行う。



# 始良森林計画区 機能類型別位置図



1:1



## 凡例

- 山地災害防止(土砂)
- 自然維持
- 森林空間利用
- 水源涵養

出典：国土地理院  
地理院タイルに国有林を追記して作成。



## 目 次

1	国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(1)	国有林野の管理経営の基本方針	1
①	森林計画区の概況	1
②	国有林野の管理経営の現状及び評価	1
③	持続可能な森林経営の実施方向	2
④	政策課題への対応	4
(2)	機能類型に応じた管理経営に関する事項	4
①	機能類型ごとの管理経営の方向	4
②	地区ごとの管理経営の方向	6
(3)	森林・林業施策全体の推進への貢献に必要な事項	7
①	「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の推進と民有林関係者への普及	7
②	林業事業体・林業経営体の育成	7
③	市町村の森林・林業行政に対する技術支援	8
④	森林・林業技術者等の育成支援	8
⑤	その他	8
(4)	主要事業の実施に関する事項	8
①	伐採総量	9
②	更新総量	9
③	保育総量	9
④	林道の開設及び改良の総量	9
(5)	その他必要な事項	9
2	国有林野の維持及び保存に関する事項	10
(1)	巡視に関する事項	10
①	山火事防止等の森林保全巡視	10
②	境界の保全管理	10
(2)	森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止に関する事項	10
(3)	特に保護を図るべき森林に関する事項	10
(4)	その他必要な事項	10
3	林産物の供給に関する事項	11
(1)	木材の安定的な取引関係の確立に関する事項	11
(2)	その他必要な事項	11
4	国有林野の活用に関する事項	11
(1)	国有林野の活用の推進方針	11
(2)	国有林野の活用の具体的手法	12
(3)	その他必要な事項	12

5	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項	1 2
	(1) 民有林と連携した施業や民有林材との協調出荷の推進に関する事項	1 2
	(2) 公益的機能維持増進協定の締結に関する基本的な方針	1 2
	(3) その他必要な事項	1 2
6	国民の参加による森林の整備に関する事項	1 2
	(1) 国民参加の森林に関する事項	1 2
	(2) 分収林に関する事項	1 3
	(3) その他必要な事項	1 3
7	その他国有林野の管理経営に関し必要な事項	1 3
	(1) 林業技術の開発、指導及び普及に関する事項	1 3
	(2) 地域の振興に関する事項	1 3
	(3) その他必要な事項	1 4

## 1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

### (1) 国有林野の管理経営の基本方針

本計画区における国有林野の管理経営は、国有林野の管理経営に関する基本計画に即するとともに、国有林の地域別の森林計画と調和して、機能類型区分等による公益重視の管理経営を一層推進するとともに、その組織・技術力・資源を活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献していく。

#### ① 森林計画区の概況

本計画の対象は、始良森林計画区を管轄区域とする国有林野 10,981 ha（不要存置林野 29 haを含む。）であり、鹿児島県の北東部に位置し、北部から南東部にかけては宮崎県と境をなす韓国岳（1,700m）を主峰とする霧島連山の一部の区域である。西部は、国見岳、烏帽子岳等の山系の区域で標高 700m 程度である。北部に川内川が流れ、始良北部地区及び霧島地区の一部がその集水域に含まれる。また、別府川、網掛川、天降川等が鹿児島湾へ注ぎ、始良西部地区、始良南東部地区、霧島地区の一部がこれらの河川の集水区域である。

本計画区は、水源かん養保安林が全体の 89% に達し、霧島市、始良市及び湧水町住民の重要な水がめの役割を担っている。また、豊富な人工林資源を背景に、民有林・国有林一体となった林業地帯が形成されており、国産材の供給基地として木材加工業が発達している。

また、霧島地区は、シイ類、タブノキ、カシ類等の暖帯性の広葉樹とモミ、ツガ、キリシマアカマツ等の針葉樹が混生した天然林が分布している。なお、霧島地区は、霧島錦江湾国立公園に指定されており、火山、火山湖、滝等森林景観の豊かな観光資源に恵まれていることから、保養、自然探勝、登山など森林レクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用されている。

#### ② 国有林野の管理経営の現状及び評価

本計画区の国有林は、鹿児島森林管理署が管理経営しており、本計画の対象とする国有林野面積は 10,952 ha で、計画区全体の森林面積 65,684 ha に対して 17% を占めている。主な樹種としては、針葉樹はスギ、ヒノキ、アカマツ、広葉樹はブナ、クヌギ、カシ類などとなっている。林相別に見ると、針葉樹林 6,713 ha、針広混交林 1,504 ha、広葉樹林 2,237 ha となっている。

蓄積は 3,344 千 m<sup>3</sup> で、計画区全体の蓄積 20,741 千 m<sup>3</sup> に対して 16% を占めている。また、人工林面積は 6,968 ha で人工林率は 67% となっている。

森林の種類は、普通林が 427 ha で 4%、制限林が 10,525 ha で 96% となっている。なお、制限林の 99% が保安林であり、そのうち水源かん養保安林が 93% となっている。

○ 始良森林計画区内の森林資源状況 (単位：ha、m<sup>3</sup>)

区 分	人工林	天然林	その他	合計
面 積	6,968	3,485	498	10,952
蓄 積	2,490,430	853,098	—	3,343,528

注： 合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

主要施策に係る前計画の計画量と実行量について下表に示す。

伐採立木材積については、主伐、間伐とも事業が順調に推移し、計画を概ね達成した。

造林面積については、更新対象となった箇所について着実に実行しているものの、伐採が計画期間の後半に集中したことにより、今計画期間中の造林実行が少なくなったことから計画を下回った。

林道等の開設又は改良については、集中豪雨などの自然災害による被災箇所の復旧を優先して実行する必要性が生じたことから計画を下回った。

○ 主要施策に係る計画量と実行量

項 目	計 画	実 行
伐採立木材積	340,000 m <sup>3</sup>	275,452 m <sup>3</sup>
主 伐	167,066 m <sup>3</sup>	132,736 m <sup>3</sup>
間 伐	172,934 m <sup>3</sup> (1,552 ha)	142,716 m <sup>3</sup> (1,350 ha)
造林面積	298 ha	199 ha
人工造林	297 ha	198 ha
天然更新	1 ha	1 ha
林道等の開設又は改良	開設：11.3 km 改良：43 箇所	開設：1.8 km 改良：4 箇所

注： 前計画の臨時伐採量は主伐に含めた。

③ 持続可能な森林経営の実施方向

国有林野の管理経営に当たっては、開かれた「国民の森林」の実現を図り、現世代から将来世代へ森林からの恩恵を伝えるため、住民の方々の意見を聴き、機能類型区分や森林の適切な整備・保全等による持続可能な森林経営に取り組んでいく。

また、持続可能な森林経営については、日本はモントリオール・プロセスに参加しており、この中で森林経営の持続可能性を客観的に把握し評価するための7基準(54指標)が示されている。本計画区の国有林野について、この基準を参考に取り組んでいる施策及び森林の取扱方針を整理すると次のとおりとなる。

<p>I 生物多様性の保全</p>	<p>地域の特性に応じた多様な森林生態系を保全していくため、針広混交林等からなる多様な林相の森林を整備及び保全していくとともに、貴重な野生動植物が生息・生育する森林について適切に保護・保全するほか、施業を行う場合でも適切な配慮を行う。関連する主な施策として、厳格な保全・管理を行う保護林のモニタリング調査等を通じた適切な保全・管理等を推進するとともに、原生的な天然林や里山林、溪畔林、保護樹帯等を各々の林相に応じ適切な整備・保全を行い、森林生態系のネットワークの構築を図る。</p>
<p>II 森林生態系の生産力の維持</p>	<p>森林としての成長力を維持し健全な森林を整備していくため、間伐等の適切な実施と主伐後の更新確保による健全な森林の整備とともに、公益的機能の発揮と両立した木材の生産を行う。関連する主な施策として、計画、設計、施工の各段階において森林生態系との調和を図りつつ、林道（林業専用道を含む。以下同じ。）及び森林作業道の適切な組合せによる路網の計画的な整備を推進する。</p>
<p>III 森林生態系の健全性と活力の維持</p>	<p>外部環境から受ける影響から森林の劣化を防ぐため、森林病虫害や山火事等から森林を保全するとともに、被害を受けた森林の回復を行う。関連する主な施策として、松くい虫の被害のまん延防止のため、薬剤による防除、伐倒駆除等に取り組むとともに、シカによる森林被害の状況を踏まえ、被害防除及びシカの捕獲を推進する。</p>
<p>IV 土壌及び水資源の保全と維持</p>	<p>降雨に伴う侵食等から森林を守るとともに、森林が育む水源の涵養のため、山地災害により被害を受けた森林の整備、復旧や公益的機能の維持のために必要な森林の保全を行うとともに、森林施業においても裸地化する期間の短縮や尾根筋や沢沿いでの森林の存置を行う。関連する主な施策として、安全・安心に暮らせる環境づくりを目指して、民有林と国有林が連携した効果的な治山対策に取り組む。</p>
<p>V 地球的炭素循環への森林の寄与の維持</p>	<p>地球温暖化防止に貢献するため、温室効果ガスの吸収源と位置づけることのできる森林を確保するため育成林の整備を推進するとともに、天然生林の保全を行うほか、森林整備の円滑な推進と炭素の貯蔵庫としての機能を維持するため木材利用を推進する。関連する主な施策として、間伐や再造林等の森林整備を推進するとともに、治山事業における間伐材等の利用促進や間伐材を使用した紙製品の普及に取り組む。</p>
<p>VI 社会の要望を満たす長期的・多面的な社会・経済的便益の維持及び増進</p>	<p>国民の森林に対する期待に応えるため、森林が有する多面的機能の効果的な発揮に取り組むとともに、森林浴や森林ボランティア、環境教育等森林と人とのふれあいの確保のためのフィールドの提供や森林施業に関する技術開発等に取り組む。関連する主な施策として、「レクリエーションの森」のPRや施設整備等に努めるなど、「国民の森林」として充実を図るとともに、学校のカリキュラムへの森林環境教育の導入、「遊々の森」の設定の推進、教職員を対象とした森林教室の実施等、学校との連携の強化に取り組む。</p>

VII 森林の保全 と持続可能な 経営のための 法的、制度的 及び経済的枠 組	I～VIで記述した内容を着実に実行し「国民の森林」として開かれた管理経営を行うため、国有林野に関連する法制度に基づく各計画制度の適切な運用はもとより、管理経営の実施に当たっては国民の意見を聴きながら進めるとともに、モニタリング等を通じて森林資源の状況を把握する。関連する主な施策として、国有林モニターを活用し、国有林野事業等に対する意見、要望等を聴取するとともに、国有林野事業の運営等について国民の理解の促進を図る。
--	--

④ 政策課題への対応

本計画区の国有林では、国土保全や水源涵養等の公益的機能の維持増進、「新しい林業」の実現に向けた取組、森林環境教育や森林とのふれあい、国民参加の森林づくりの推進、地球温暖化防止や生物多様性の保全に加え、スギ人工林の伐採・植替え等の花粉発生源対策の加速化などの政策課題に取り組む。

また、近年、大雨や短時間強雨の発生頻度の増加等により、山地災害が激甚化・頻発化する傾向にあることを踏まえ、林地保全に配慮した施業等に、より一層取り組む。

(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項

① 機能類型ごとの管理経営の方向

公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、

- ・山地災害防止タイプ（土砂流出・崩壊防備エリア、気象害防備エリア）
- ・自然維持タイプ
- ・森林空間利用タイプ
- ・快適環境形成タイプ
- ・水源涵養タイプ

の機能類型区分を行い、重視すべき機能の発揮を目的とした管理経営を行う。

なお、地域別の森林計画における公益的機能別施業森林との関係は下表のとおり。

○ 機能類型と公益的機能別施業森林の関係

機能類型		公益的機能別施業森林			
		水源涵養 機能維持 増進森林	山地災害 防止機能/ 土壌保全 機能維持 増進森林	快適環境 形成機能 維持増進 森林	保健機能 維持増進 森林
山地災害防止 タイプ	土砂流出・崩壊防備エリア	○	○		
	気象害防備エリア	○	○	○	
快適環境形成タイプ		○		○	
水源涵養タイプ		○			
自然維持タイプ		○	○		○
森林空間利用タイプ		○	○		○

また、機能類型区分に応じた管理経営に当たっては「管理経営の指針」（別冊）によるほか、次の点に留意して、個々の森林の自然条件や社会的条件を踏まえて適切に行う。

なお、各機能の発揮を図るために導入する林相の維持・改良等に必要な施業により生じる木材については、有効利用を図る。また、齢級構成の平準化やニーズに応じた主伐を計画的に行うことにより木材の供給を図る。

#### ア 山地災害防止タイプにおける管理経営の指針その他山地災害防止タイプに関する事項

山地災害防止タイプは、土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防備その他災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、次の事項に留意して、保全対象と当該森林の位置的関係、地質や地形等の地況、森林現況等を踏まえた適切な管理経営を行う。

山地災害防止タイプのうち、土砂流出・崩壊防備エリアでは、根系が深くかつ広く発達し、常に落葉層を保持し、適度の陽光が入ることによって下層植生の発達が良好であり、必要に応じて土砂の流出・崩壊を防止する治山施設等が整備されている森林を整備の目標とする。

山地災害防止タイプのうち、気象害防備エリアでは、樹高が高く下枝が密に着生しているなど遮蔽能力が高く、諸被害に対する抵抗性の高い樹種によって構成される森林を目標とする。

#### イ 自然維持タイプにおける管理経営の指針その他自然維持タイプに関する事項

自然維持タイプは、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、原則として自然の推移に委ねるとともに、生物多様性の保全等に配慮した管理経営を行う。

#### ウ 森林空間利用タイプにおける管理経営の指針その他森林空間利用タイプに関する事項

森林空間利用タイプは、スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、それぞれの保健・文化的利用の形態に応じた管理経営を行う。

#### エ 快適環境形成タイプにおける管理経営の指針その他快適環境形成タイプに関する事項

快適環境形成タイプは、騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象緩和等地域住民の居住環境を良好な状態に保全する機能を重点的に発揮すべき森林であり、それぞれの機能に応じた管理経営を行う。

#### オ 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける管理経営の指針その他水源涵養<sup>かん</sup>タイプに関する事項

水源涵養<sup>かん</sup>タイプは、国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、渇水緩和や水質保全等の水源涵養<sup>かん</sup>機能を高める

ため、浸透・保水能力の高い森林土壌の維持及び根系や下層植生の発達が良好で諸被害に強い森林の整備を目標として管理経営を行う。なお、これら条件の維持できる範囲で森林資源の有効利用に配慮する。

## ② 地区ごとの管理経営の方向

### ア 始良西部地区（1003～1031 林班）

別府川、網掛川及び天降川支流の水源域に点在する地区で、スギ、ヒノキ人工林が80%以上を占める。

網掛川支流の宇曾木川流域においては、中流域に竹山ダムがあり、霧島市溝辺町と始良市加治木町の水源地として重要な役割を担っており、そのほとんどが水源かん養保安林に指定され、水源涵養機能を重視すべき森林であることから、主に「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行う。

地形が急峻で土砂流出防備保安林及び土砂崩壊防備保安林が点在している地区は、山地災害防止機能を重視すべき森林であることから、「山地災害防止タイプ」に区分して管理経営を行う。

### イ 始良北部地区（1113～1116、3086～3088、3092、3094～3096、3099 林班）

本計画区の最北端に位置し、川内川に平行して帯状に位置し、傾斜は比較的急峻でスギ、ヒノキの人工林が大部分を占めているが、広葉樹も多く点在している。

当地区のほとんどが水源かん養保安林に指定され、下流の集落等の水源林として水源涵養機能を重視すべき森林であることから、「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行う。

### ウ 霧島地区（1032～1085、3055、3070～3073 林班）

本計画区の北東部に位置し、大部分が天降川の支流及び霧島川の上流に、一部が川内川の支流に位置し、全体的に上流部に天然林、下流部に人工林が分布している。

中でも暖帯性から温帯性樹種までの原生的な垂直植生分布が見られる地域は、その多様性に富んだ森林生態系に係る豊富な生物遺伝資源を広範に保存するため、霧島山生物群集保護林に設定している。また、飯盛山と栗野岳に挟まれた位置にあるタブノキ、イスノキ等の常緑広葉樹林を主とした天然林は、川添タブノキ等遺伝資源希少個体群保護林に設定している。

霧島錦江湾国立公園の特別保護地区及び特別地域や史跡名勝天然記念物に指定されており、自然環境の保全に係る機能や保健文化機能を重視すべき森林であることから、「自然維持タイプ」又は「森林空間利用タイプ」に区分して管理経営を行う。

地形が急峻で土砂流出防備保安林及び土砂崩壊防備保安林が点在している地区は、山地災害防止機能を重視すべき森林であることから、「山地災害防止タイプ」に区分して管理経営を行う。

これら以外の大部分は、水源かん養保安林に指定されており、水源涵養機能を重視すべき森林であることから、「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行う。

エ 始良南東部地区（126～131、136～138、1086～1091 林班）

天降川と検校川、宮崎県を流れる大淀川の支流として上流域に位置する地区で、多数の支流域に分かれており、スギ、ヒノキの人工林が大半を占めている。

大部分が水源かん養保安林に指定されており、下流域の灌漑用水や大淀川の支流に流れる清流等の水源地として水源涵養機能を重視すべき森林であることから、「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行う。

(3) 森林・林業施策全体の推進への貢献に必要な事項

本計画区の国有林野の管理経営に当たっては、県や市町村を始めとする幅広い民有林関係者等と密接な連携を図りながら、森林の有する多面的機能の発揮を基本としつつ、その組織・技術力・資源を活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献していく。

このため、森林・林業基本計画に掲げる「新しい林業」の実現、担い手となる林業経営体の育成、国産材の安定供給体制の構築等に向け、特に次に掲げる取組を推進する。

また、これらの取組に当たっては、機能類型区分の管理経営の考え方を踏まえ、水源涵養タイプに区分された人工林のうち自然条件や社会的条件から持続的な林業生産活動に適したものを特に効率的な施業を推進する森林として設定・公表し、当該森林を活用して主伐・再造林等の主に林業に関する取組を民有林関係者に分かりやすい形で効果的に進める。

① 「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の推進と民有林関係者への普及

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の実現に向けて、民有林への普及を念頭に置き、産学官連携の下に、林業の省力化や低コスト化等に資する技術開発・実証を推進するとともに、事業での実用化を図り効率的な施業を推進する。

特に、造林の省力化や低コスト化に向けてエリートツリー等の新たな手法の事業での活用を進めるとともに、レーザ計測やドローン等を活用した効率的な森林管理・木材生産手法の実証等に積極的に取り組む。また、こうした成果については、現地検討会やホームページでの結果の公表等を通じて、民有林関係者等への普及・定着に取り組む。

② 林業事業体・林業経営体の育成

林業従事者の確保等に資する観点から、事業発注者という国有林野事業の特性を活かし、年間の発注見通しや市町村単位での将来事業量の公表を行いつつ、安定的な事業発注に努めるとともに、若者雇用、安全対策、技術力向上の取組等を評価・加点する総合評価落札方式や事業成績評定制度の活用、複数年契約によるまとまった面積の間伐等事業の実施、労働安全対策に配慮した事業実行の指導などにより、林業事業体の育成に取り組む。

また、森林経営管理制度に係る林業経営体の受注機会の拡大に配慮する。さらに、分収造林制度を活用した経営規模拡大の支援に取り組む。

③ 市町村の森林・林業行政に対する技術支援

森林経営管理制度の取組が進む中で、森林総合監理士（フォレスター）の資格を有する職員等を活用しつつ、市町村のニーズに応じて、森林・林業技術に関する研修への市町村職員等の受入れや公的管理を行う森林の取扱い手法の普及など、県と連携して市町村の森林・林業行政等に対する技術支援に積極的に取り組む。

④ 森林・林業技術者等の育成支援

大学の研究・実習等へのフィールドの提供等を通じ、森林・林業技術者の育成を支援するとともに、林業従事者の育成に向けた林業大学校等への講師派遣等に努める。

⑤ その他

国民の森林<sup>もり</sup>としての管理経営を推進する観点から、森林環境教育の推進、生物多様性の保全に係る取組の推進（関係機関と連携した野生鳥獣被害対策の実施等）、安全・安心の取組に係る情報提供等に努める。

(4) 主要事業の実施に関する事項

本計画及び前計画期間における伐採、更新、保育及び林道の事業総量は以下のとおりである。

事業の実施に当たっては、効果的かつ効率的な実施に努め、国土の保全、自然環境の保全、生物多様性の保全等に十分配慮しつつ、地球温暖化対策・花粉発生源対策として適切な主間伐や木材利用の推進、エリートツリー等の再生林に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化、様々な生育段階等からなる森林のモザイク的配置や里山の整備等、地域の現況を踏まえ、資源の循環利用を行いながら多様で健全な森林の整備・保全を推進する。

なお、森林資源の成熟に伴い主伐が増加していく中で、その実施に際しては、自然条件や社会的条件、政策課題への対応を考慮して実施箇所を選定するとともに、造林コストや花粉の少ない森林への転換、鳥獣被害等に配慮しつつ、公益的機能の持続的な発揮と森林資源の循環利用の観点から確実な更新を図る。

更新・保育については、伐採事業との一体的な実施や新たな林業技術の導入等による造林・育林作業の低コスト化に取り組む。

林道等の路網については、林産物の搬出、森林の育成のみでなく、森林の適切な保全管理等を効率的に行うために必要であり、森林の公益的機能が高度に発揮されるよう計画的に整備する。その際、特に自然・社会的条件の良い森林において重点的な整備を推進する。

また、災害の激甚化を踏まえ、排水機能の強化などにより路網の強靱化・長寿命化を進めるとともに、曲線部の拡幅などにより走行車両の大型化等に対応する。

労働災害がなく、健康で明るく働けるように労働安全衛生の確保に努めるとともに、計画的な事業の発注等により林業事業体の育成を図る。

① 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分	主伐	間伐	臨時伐採量	計
本 計 画	175,653	213,382 (1,564)	18,965	408,000
前 計 画	155,550	172,934 (1,552)	11,516	340,000

注： ( ) は間伐面積である。

② 更新総量

(単位：ha)

区 分	人工造林	天然更新	計
本 計 画	360	0	360
前 計 画	297	1	298

③ 保育総量

(単位：ha)

区 分	下刈	つる切	除伐	ぼう芽整理
本 計 画	1,462	355	511	—
前 計 画	1,298	210	248	2

④ 林道の開設及び改良の総量

区 分	開 設		改 良	
	路線数	延長量 (m)	箇所数	延長量 (m)
数 量	8	6,800	41	21,200

(5) その他必要な事項

治山事業は、国民の安全と安心を確保するため、大雨や短時間強雨の発生頻度の増加等により、山地災害が激甚化・頻発化する傾向にあることを踏まえ、国土強靱化基本計画等に基づき治山対策を推進する。具体的には、山腹崩壊等による土砂流出量の増大、流木災害の激甚化、広域にわたる河川氾濫など災害の発生形態の変化等に対応して、流域治水と連携しながら、被災危険度や発生危険度等を考慮しつつ、山地災害危険地区等におけるきめ細かな治山ダムの配置等による土砂流出の抑制等を推進する。その際、治山対策等による森林の機能の維持・向上は、Eco-DRR（生態系を活用した防災・減災）やグリーンインフラの考え方にも符合する取組であることを踏まえるとともに、現地の実情に応じた在来種による緑化や治山施設への魚道設置など生物多様性

保全の取組にも努める。

また、大規模な山地災害発生時には、被害状況を速やかに調査するためにヘリコプターやドローン等を活用した被害調査を実施するとともに、専門技術を有した職員からなる MAFF-SAT（農林水産省・サポート・アドバイス・チーム）をリエゾン（情報連絡員）や山地災害対策緊急展開チームとして現地に派遣するなどし、国有林防災ボランティアの協力も得つつ、民有林への支援も含めた迅速な災害対策、二次災害防止対策を図る。

## 2 国有林野の維持及び保存に関する事項

### （1） 巡視に関する事項

#### ① 山火事防止等の森林保全巡視

本計画区の霧島地区においては、レクリエーションを目的とした入林者が多く、特に、春季は、山菜採りのシーズンと乾燥期、季節風等が重なり、山火事発生の危険が増大する。このため、地元市町村等関係機関、森林保全巡視員及び地元住民等で組織されている霧島連山自然保護協議会と連携の強化を図り、林野火災注意報・警報の仕組みを含めた林野火災予防に関する情報の周知や、請負事業者等への指導の徹底、森林巡視の際の入林者への啓発等を適時適切に実施する。

また、廃棄物の不法投棄については、地元市町村等関係機関、廃棄物対策協議会、森林保全巡視員、ボランティア団体等との連携の強化を図り防止に努める。

#### ② 境界の保全管理

境界標の巡検及び境界巡視を確実にを行い、境界の保全管理に努める。

### （2） 森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止に関する事項

森林病虫害による被害の早期発見及び早期駆除を図るために、適切な森林の巡視に努める。

近年、松くい虫による森林被害は減少傾向にあるものの、依然として発生は続いている。特に霧島の貴重な森林資源であるキリシマアカマツの保全を図るため、今後とも松くい虫被害発生状況の早期把握及び駆除に努める。

### （3） 特に保護を図るべき森林に関する事項

本計画区は、貴重な自然環境を有する天然林等が多数存在しており、これらの森林については、生物多様性の保全を図る上で重要であり、保護林として設定し適切に保護・保全を図っていくとともに、巡視活動等やモニタリング調査を通じた適切な保全・管理を推進する。

### （4） その他必要な事項

本計画区の国有林野の大半が水源かん養保安林に指定されているなど、水源涵養<sup>かん</sup>の上で重要な森林が多く存在することから、保安林等の適切な管理に努める。

深刻な状況にあるシカなどの野生鳥獣による森林被害については、その防止に向け、鳥獣保護管理施策や農業被害対策等との連携を図りつつ、生息状況や森林被害のモニタリングを推進し、被害の状況把握に努め、その結果を踏まえて、防護柵の設置等の

防除活動等や、地元行政機関、狩猟者団体、森林組合、森林所有者等との協力による効果的かつ効率的な捕獲等を総合的かつ効果的に推進する。

また、自然災害等により劣化した森林の再生・復元に努めるとともに、ボランティア団体等と協働・連携し、荒廃した植生の回復措置を行うなど、森林生態系の保全等のための取組について、環境行政との綿密な連携を確保しつつ推進する。

尾根筋や溪流沿い等の森林については、保護樹帯等として保全することを通じて、生物多様性の保全に努める。

### 3 林産物の供給に関する事項

#### (1) 木材の安定的な取引関係の確立に関する事項

国有林材の計画的・安定的な供給を通じて、地域における安定供給体制の整備や木材の新たな需要の拡大、原木の加工・流通の合理化等に資するため、需要先と事前に協定を締結し、その協定に基づき計画的に丸太を供給する安定供給システム販売に取り組む。

さらに、民有林・国有林が連携しつつ合理的な販売・流通体制の確立を目指し、国産材の需要・販路の拡大に努める。

#### (2) その他必要な事項

林産物の供給に当たっては、効果的かつ効率的な取組を推進することとし、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率・低コストな作業システムによる木材生産やニーズに応じた安定供給に努める。

また、庁舎等の整備、森林土木工事等の公共工事において、木材利用の促進に取り組む。

### 4 国有林野の活用に関する事項

#### (1) 国有林野の活用の推進方針

国有林野の活用に当たっては、地域の社会的・経済的状況、住民の意向等を考慮し、地域における産業の振興、住民の福祉の向上等に資するよう、国有林野の管理経営との調整を図りつつ、積極的に推進する。

その際、再生可能エネルギー発電事業の用に供する場合には、国土の保全や生物多様性の保全等に配慮するとともに地域の意向を踏まえつつ、適切な活用を図る。また、令和3年に整備した貸付け等手続きマニュアルに基づき、手続きの迅速化・簡素化等に努める。

なお、国有林野の活用については、盛土を始めとする土地の形質の変更等に係る各種法令に基づく許認可等を確認するほか、制限のない国有林野についても林地開発許可制度に準じて取り扱う。

特に、本計画区の霧島地区は、鹿児島市等の都市部から比較的近く、温泉、溪谷等の豊富な観光資源に恵まれていることから、ハイキング、登山など森林を活用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されている。

また、国有林内の豊富な温泉資源は、多数の温泉郷として、地元住民や観光者に利用されている。今後もこのような地理的条件を生かした地域づくりを進めていく必要があり、地域の振興に資するための国有林野の活用には、自然環境の保護や自然景観

の維持に配慮しつつ、積極的に対応していく。

さらに、本計画区域は始良流域の水源地帯に当たり、水源かん養保安林が全体の 89%に達し、下流域の水がめとして重要な役割を果たしていることから、都市住民の参加による水源林の造成を推進する。

(2) 国有林野の活用の具体的手法

本計画区における国有林野の活用に当たり、道路等の公用・公共用地については貸付け又は売払い等による。また、水源林造成及びシイタケほだ木生産等については、分収林制度を積極的に推進する。

(3) その他必要な事項

該当なし。

5 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる私有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 私有林と連携した施業や私有林材との協調出荷の推進に関する事項

地域における施業集約化の取組を支援するため、私有林と連携することで事業の効率化や森林経営管理制度の導入に資する区域については、森林共同施業団地を設定し、私有林野と連結した路網の整備と相互利用の推進、計画的な間伐等に取り組む。

また、森林共同施業団地や、国産材の流通合理化のニーズが高い地域等においては、国産材の安定供給体制の構築に資するよう路網や土場の共同利用やこれまでの「システム販売」の実績や経験を活かして私有林材との協調出荷等に取り組む。

(2) 公益的機能維持増進協定の締結に関する基本的な方針

国有林野に隣接・介在する私有林野の中には、小規模で孤立分散し立地条件が不利であること等から森林所有者等による整備及び保全が行われず、当該私有林野における土砂の流出等の発生が国有林野の発揮する国土保全等の公益的機能に悪影響を及ぼす場合や、鳥獣、病害虫、外来種その他の森林の公益的機能に悪影響を及ぼす動植物の繁殖が国有林野で実施する駆除等の効果の確保に支障を生じさせる場合がある。

このような場合、国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るために有効かつ適切なものとして、森林施業の集約化を図るための林道や森林作業道の開設とこれらの路網を活用した施業等を私有林野と一体的に行い、私有林野の有する公益的機能の維持増進にも寄与するよう、公益的機能維持増進協定制度の活用に努める。

(3) その他必要な事項

該当なし。

6 国民の参加による森林の整備に関する事項

(1) 国民参加の森林に関する事項

ボランティア団体等との協定に基づく「ふれあいの森」等により、国民の自主的な参加による森林整備活動等を推進する。

○ ふれあいの森

名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)
きりしまヤイロの森	9.36	1032 れ～ら

(2) 分収林に関する事項

森林に対する国民の要請が多様化する中で、社会貢献活動として森林づくりに自らが参加・協力したいという企業等の要請に応えるため、分収林制度の活用による森林整備を推進する。

(3) その他必要な事項

協定の締結により継続的に体験活動ができる「遊々の森」等を活用して、豊かな自然環境を有する国有林野を多様な体験活動の場として積極的に提供し、森林環境教育の推進に努める。

また、教職員やボランティアのリーダー等に対する普及啓発や技術指導、森林環境教育のプログラムや教材の提供等を積極的に推進する。

さらに、森林管理署等は、国民参加による森林の整備・保全等に関する情報の提供、国民からの相談への対応、国民参加の支援を行う拠点としての機能の発揮を行うよう努める。

○ 社会貢献の森

名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)
かごしま持続可能な次世代の杜	1.92	1082 い
霧島・星降る森林	0.88	1082 い 1

7 その他国有林野の管理経営に関し必要な事項

(1) 林業技術の開発、指導及び普及に関する事項

研究機関等が行う林業技術の開発及び林業機械の導入試験等に対しては、フィールド提供を積極的に行う。

(2) 地域の振興に関する事項

機能類型に応じた適切な管理経営を行い、山地災害の防止、水源の涵養、自然環境の保全、保健・文化・教育的利用、木材の安定供給等を通じて地域振興に寄与することに努め、その際には特に次の点に留意する。

① 分収造林及び国有林野の利活用の要請に対しては積極的に対応する。

② 林道については、地域の実態を踏まえ、生活道路としての機能の発揮に十分留意する。

③ 蜂蜜の採取源となる樹種については、事業実行との調整を図りつつ、その保全に努める。

- (3) その他必要な事項  
該当なし。

# 第7次国有林野施業実施計画書

(始良森林計画区)

計画期間

自	令和8年4月1日
至	令和13年3月31日

九州森林管理局



## 目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1) 伐採造林計画簿	1
(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4) 伐採総量	3
(5) 更新総量	4
(6) 保育総量	5
3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	5
4 林道の整備に関する事項	7
5 治山に関する事項	8
6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	9
(1) 保護林の名称及び区域	9
(2) 緑の回廊の名称及び区域	9
7 樹木採取区の名称、所在地及び面積	10
8 レクリエーションの森の名称及び区域	10
9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる私有林野の整備及び保全等に関する事項	10
(1) 森林共同施業団地の名称及び区域	10
(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域	10
10 その他必要な事項	11
(1) 施業指標林、試験地等	11
(2) フィールドの提供	12
(3) その他	12
(附属資料)	
1 国有林野の現況	15
(1) 担当区別の区域及び面積	15
(2) 保安林、自然公園等の面積	16
(3) 林況（林種等別齢級別面積、蓄積及び成長量）	17
2 機能類型別の国有林野の現況	25
3 林道等の現況	26
4 収穫予想表	26
5 地元施設等の現況	26
別表1 収穫予想表	27



1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢等
施業群	スギ・ヒノキ普通伐期	749.13	伐採箇所の縮小、分散化による皆伐新植を行う	スギ 50 ヒノキ 55
	スギ長伐期	1,522.31	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による皆伐新植を行う	70
	ヒノキ長伐期	1,796.41	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による皆伐新植を行う	80
	アカマツ長伐期	194.23	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による皆伐新植を行う	80
	ケヤキ長伐期	11.02	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による皆伐新植を行う	150
	その他人工林	76.27	伐採箇所の縮小、分散化による皆伐新植を行う	60
	保護樹帯	700.09	被害木等について択伐を行う	60
	スギ・ヒノキ複層林	1,705.18	伐採箇所の縮小、分散化による複層伐を行う	【2段林】 スギ80 ヒノキ90 【3段林】 スギ70 ヒノキ75
	その他複層林	12.65	伐採箇所の縮小、分散化による複層伐を行う	—
	天然林長伐期	335.75	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による択伐及び皆伐を行う	100
天然林広葉樹	342.06	伐採箇所の縮小、分散化による択伐及び皆伐を行う	35	
しいたけ原木	36.32	皆伐0回目以降は、ぼう芽更新を行う	20	
施業群設定外		13.31		
合計		7,494.73		

(3) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	備考
通常伐期施業	71	スギ・ヒノキ普通伐期
		しいたけ原木
長伐期施業	251	スギ長伐期
		ヒノキ長伐期
		アカマツ長伐期
		ケヤキ長伐期
複層林施業	214	スギ・ヒノキ複層林
		その他複層林
天然林・その他施業	207	その他人工林
		保護樹帯
		天然林長伐期
		天然林広葉樹

## (4) 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分	林 地					林地以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計		
山地災害防止タイプ	1,264	14,411 (107)	15,675				
自然維持タイプ	—	—	—				
森林空間利用タイプ	—	—	—				
快適環境形成タイプ	—	—	—				
水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ普通伐期	42,925	253	43,178			
	スギ長伐期	40,107	68,341	108,448			
	ヒノキ長伐期	421	93,996	94,417			
	その他人工林	2,127	—	2,127			
	スギ・ヒノキ複層林	88,721	36,381	125,102			
	天然林広葉樹	88	—	88			
	計	174,389	198,971 (1,457)	373,360			
合 計	175,653	213,382 (1,564)	389,035	18,965	408,000	—	408,000
年 平 均	35,131	42,676 (313)	77,807	3,793	81,600	—	81,600

注1 ( ) は間伐面積である。

2 四捨五入の関係で計と内訳の合計が一致しないことがある。

## (再掲) 市町村別内訳

(単位：m<sup>3</sup>)

市 町 村 名	林 地					林地以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計		
霧 島 市	129,913	127,888	257,801	/	/	/	/
始 良 市	13,715	14,023	27,738				
湧 水 町	32,025	71,471	103,496				

注 臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ <sup>○</sup>	自然維持 タイプ <sup>○</sup>	森林空間 利用タイプ <sup>○</sup>	快適環境 形成タイプ <sup>○</sup>	水源涵養 タイプ <sup>○</sup>	合 計
人 工 造 林	単層林成	4.70	—	—	—	205.54	210.24
	複層林成	1.97	—	—	—	147.65	149.62
	計	6.67	—	—	—	353.19	359.86
天 然 更 新	天然下種 第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種 第2類	—	—	—	—	0.23	0.23
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	0.23	0.23
合 計		6.67	—	—	—	353.42	360.09

## (6) 保育総量

(単位：ha)

区分	山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 タイプ°	合計
保育	下刈	44.64	—	—	1,417.13	1,461.77
	つる切	9.40	—	—	345.28	354.68
	除伐	26.40	—	—	484.12	510.52
	ぼう芽整理	—	—	—	—	—
	計	80.44	—	—	2,246.53	2,326.97

## 3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

所在地（林小班）	面積（ha）
126ほ7、ほ8、ぬ、127ほ、へ、と、128い1、ろ、ろ1、ろ2、ろ3、ろ4、は、に、ほ、へ、わ、よ、れ1、な1、ら、129は、に、ほ、130ろ、は、に、に1、と、と1、と2、ち、り、り1、る、わ、か、か2、か3、か4、よ、よ1、そ、131い、ろ、に、ほ、と、り、ぬ、る、わ、か、た、そ、つ、つ1、つ2、つ4、つ5、ね、ね1、な、ら、ら1、ら2、ら3、む1、む2、む3、136ほ、へ、わ、よ1、よ2、よ3、よ4、よ5、た、れ、な2、な3、や、や1、ま、137よ、た、れ、つ1、138わ、1003い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、る、わ、1004い、ろ、ろ1、は、に、ほ、と、ち、り、か、よ、た、れ、れ1、そ、つ、ね、ら、む、の、や、ま、ふ、え、ゆ、め、み、ひ1、1005ろ、は、に、ほ、へ、り、り1、る、る2、わ、か、よ、れ、つ1、な、ら、む、の、ま、ま1、ふ、こ、え1、て、あ、さ、き、ゆ、ゆ1、め、1006い、は、に、ほ、へ、へ1、と、と1、と2、ち、り、ぬ、る、わ、か、た、れ、そ、つ、ね、な、ら、む、う、の、お、1007い、ろ、は、に、ほ、へ、と、と1、と2、ち、り、ぬ1、わ、れ、む、う、の、お、く、や、こ、1008い2、へ、ち、わ、よ、た、れ、そ、つ、ね、な、ら、む、の、お、く、や、ま、1009は、ち、り、れ1、そ、な、1010い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、ぬ、る、よ、た、れ、そ、つ、ね1、ね2、な、ら、む、う、お、く、や、ま、け、ふ、て、あ、さ、1011は、ほ、へ、ち、り、る、わ、か、か1、た、れ、つ、ね、な、う、の、お、ふ、こ、て1、1012い、ろ、は、に、へ、と、ち、り、り1、ぬ、る、わ、わ1、か、よ、た、れ、1013い、は1、に、ほ、と、ち、ち1、り、ぬ、る、わ、わ1、か、か1、よ、た、れ、1014ろ、に、ほ、へ、と、ち、り、1015い、ろ、は、に、ほ、へ、と1、ち、り、ぬ、る、る1、る2、か、よ、た、1016い、は、ち、わ、か、よ、た、れ、つ、ね、な、む、う、の、お、く、ま、け、ふ、て1、1017は、へ、と、ち、ち1、ぬ、る、わ、わ1、か、か1、よ、た、1018い、ろ、は、に、ほ、へ、と、り、ぬ、る、わ、よ、た、れ、そ、つ、ね、な、ら、む、う、の、お1、く、く1、や、ま、け、ふ、こ、え、あ、さ、き、ゆ、1019い、い1、ろ、は、は1、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、わ、か、か1、よ、れ、そ、つ、ね、な、ら、う1、1020い、ろ、は、ほ、へ、と、ち、ぬ、る、わ、よ、た、れ、1021い、ろ、は、に、へ、と、ち、り1、り2、り4、ぬ、ぬ2、る、わ、か、よ、た、れ、そ、つ、つ1、ね、な、な1、ら、む、1022い、い1、い2、ろ、は、ほ、へ、と、ち、ぬ、る、わ、か、よ、た、れ、そ、つ、つ1、1023い、ろ、に、ほ1、と、ち、ぬ、わ、か、よ、た、れ、そ、つ、ね、な、ら、む、う、1024い、ろ、は、に、へ、と、ち、り、ぬ、る、わ、か、た、れ、そ、ね、な、ら、む、う、の、お、く、や、け、け1、ふ、こ、え、1025り、1026ぬ、る、る1、1027う、ね、ら、ら1、ら2、1028い、い1、い2、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち1、ち2、ち4、り、ぬ、る、わ、わ1、か、た、れ、そ、ね、な、ら、む、う、1029い、い1、ろ、は、に、ほ、ほ1、へ、と、ち、ち1、り、り1、り2、ぬ、る、わ2、わ4、わ5、わ7、わ8、か、か1、よ、た、れ、そ、そ1、つ、1030ろ、は、に、ほ、へ、へ1、と、と1、ち、り、ぬ、ぬ1、る、わ、か、た、れ、そ、つ、ね、な、む、う、お、く、け、ふ、こ、え、て、あ、	5,033

所在地 (林小班)	面積 (ha)
<p>1031い、い1、ろ、は、は1、に、ほ、へ1、と、ち、ち1、り、る、か、れ、  そ、つ、ね、な、ら、1032い、い1、い2、い3、い4、い5、ろ、は、は1、に、  ほ、へ、る、る1、わ、1033い、い1、い2、い3、い6、ろ、は、は1、に、ほ、  へ、ち、ち1、ち2、り、ぬ、る、わ、か、よ、た、れ、そ、つ、1034い、ろ、  は、に、り、1035い、ろ、は、は2、に、ほ、へ、ち、ち1、り、わ、1036ろ、  ろ1、に、へ、り、1037は、ほ、へ、と、わ、か、1039い、ろ、へ、ち、ぬ2、  る、わ、か、た、れ、な、ら、む、む1、の、お、く、や、ま、1040い、ろ、  は、へ、ぬ、る、る1、わ、そ、ね、な、む、1041い、は、に、ほ、り、1042  い、い1、ろ、ほ、へ、ち、1043ろ、ほ、へ、と、と1、と3、と5、り、り1、  り2、よ、れ、つ、な、1044ろ、は、は1、は2、ほ、へ、と、ち、り1、ぬ、ぬ  1、る、よ、よ2、よ3、た、れ、つ、ね、な、む、う1、の、お、く、や、ま、  け、ふ、え、て、あ、さ、き、ゆ、し、ひ、1045い、ろ、は、ほ、1046い、  ろ、は、ほ、へ、1047い、ろ、は、に、ほ、へ、と、と1、ち、り、ぬ、る、  わ、か、よ、た、れ、そ、つ、つ1、つ2、つ4、ね、な、1048い、ろ、は、  に、へ、へ1、へ2、と、1049い、ろ、は、に、に1、ほ、へ、1050い、ろ、  ほ、と、り、わ、よ、1051い、ろ、は、に、に2、ほ、へ、と、ち、り、わ、  わ2、わ3、か、よ、よ1、そ、つ、1053い、い1、1054い1、は、は1、に、に  1、へ、と、ち、り、ぬ、る、か、よ、た、れ、そ、つ、ね、な、う、の、お、  く、や、や1、1055ろ、は、に、ほ、と、り1、り2、ぬ、わ1、1056ろ、は、  に、へ、へ1、と、ち、り、る、わ、よ、1057ろ、に、ほ、と、ち、1058い、  は、と、わ、1059ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、ぬ、わ、1066い、ろ1、ろ3、  ろ4、は、る、わ、1067い1、は、に1、ほ、と、と1、ち、ち1、ち2、ぬ、る、  わ、よ、れ、つ、ね、ら、の、お、お2、く、1068い1、ろ、は、は1、は2、は  3、は4、は5、に、に1、ほ、へ、と、り、わ、か、よ、そ、な、1069い、い  1、い2、ろ、は、に、ほ、へ、へ1、と、ち、ち1、り、ぬ、る、る1、わ、  か、よ、た、1070い、と、と1、ち、ぬ、ぬ1、る、つ、ね、ね1、1071ろ、  ほ、へ、と、ち、り、り1、ぬ、る、わ、わ1、か、そ、1072は、に、ほ、へ、  と、ち、り、ぬ、か、つ、ね、な、ら、う、う1、1078ほ1、1079は、に、1080  い、ろ、ぬ、れ、そ、つ、な、ら、む、う、お、1081い、ろ、に、ほ、へ、  る、わ、れ、1082ろ、れ、そ、そ1、つ、つ1、ね、ら、う、や、ま、ふ、1083  い、ろ、に、ほ、へ、と、ち、ぬ、る、つ、む、う、の、お、ま、1084い、  に、へ、ち、ぬ、る、わ、よ、た、た1、そ、つ、ね、1086い、ろ、は、に、  ほ、へ、と、ち、り、ぬ、わ、わ1、か、た、れ、そ、ね、な、ら、む、む1、  の、お、く、や、1087ろ、は、は1、は3、ほ、へ、と、と1、り、ぬ、る、る  1、る2、わ、か、よ、た、れ、そ、な、ら、む、う、の、お、く、く1、く2、  く3、く4、や、ま、ま1、け、ふ、ふ1、こ、え、て、あ、1、ゆ、め、め2、み、  し、し1、し2、ひ1、1088い、は、ほ、へ、と、ち、り、り1、ぬ、る、わ、  か、よ、よ1、た、れ、そ、つ、ね、ね1、う、の、く、け、ふ、え、て、あ、  き、ゆ、め、み、し、も、せ、1089い、ろ、は、は1、は2、に、ほ、と、ち、  り、ぬ、る、る1、か、よ、よ1、よ2、た、れ、そ、つ、つ1、ね、な、む、  う、の、お、く、や3、ま、け、ふ、ふ1、ふ3、ふ4、こ1、え、て、あ、さ、  き、ゆ、1090い、ろ、は、に、へ、へ1、へ2、と、り、り1、り2、ぬ、る、わ  1、よ、そ、つ、ね、な、ら、む、の、お、お1、お2、お3、お4、や、や1、  ま、け、け1、ふ、こ、え、え1、て、て1、あ、さ、き、き2、1091い1、ろ、  は、に、に1、ほ、へ、1113い、ろ、は、は1、に、に1、に2、に3、ほ、1114  い、い1、い2、い4、い5、い6、ろ、ろ1、ろ2、ろ3、ろ4、は、は1、に、へ  1、へ2、と、り、り1、ぬ、る、る1、る2、わ、た、そ、1115ほ、と、り、  ぬ、か、れ1、そ、そ1、つ、の、や、ま、ま1、ま3、ふ、こ、て、あ、さ、  き、き1、き2、ゆ、め、み、し、ひ、も、1116と、ち、ぬ、れ、れ1、そ1、  ね、な1、ら、う、3071は、に、3072い、ろ、は、に、へ、と、ち、り、ぬ、  わ、わ4、か、よ1、3073い、ろ、に、ち、り1、3086い、い1、は、ぬ、わ1、  か、か1、か2、か3、よ、れ、そ、ね、な、ら、う、の、お1、く、や、ま、  ふ、3087い、い1、い2、ろ、は、は1、ほ、へ、と、ち、ち1、ち2、り、ぬ、  わ、わ1、か、よ、た、れ、3088い、ろ、ろ1、は、に、ほ、へ、ち、り、り  1、り2、ぬ、る、わ、わ1、か、よ、3092い、い1、い2、い3、い4、ろ、は、  に、に1、ほ、へ、ち、ち1、ち2、ち3、り、ぬ、ぬ1、ぬ2、る、る1、3094  い、ろ、は、3095ろ1、に、ほ、ち、ち1、ち2、ぬ、る1、わ、ら、む、う、  の、お、3096ぬ、ぬ1、わ、わ1、わ2、か、か1、か2、か3、か4、よ、た、  れ、そ、そ1、つ、な、な1、ら、ら1、う、く、3099い、い1、い2、ろ、は、  に、ほ、ち、ぬ、る、わ、か、よ、そ</p>	

## 4 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路 線 名	箇所（林班）	延 長 （ m ）	備 考
その他	開設	硫黄谷林道	1012	1,200	
		黒仁田林道	1004	900	
		権現段1006林道	1005、1006	1,700	
		川西3096林道	3095、3096	1,000	
		川西3099林道	3099、1114	500	
		新床1054林道	1054	500	
		黒岩1069林道	1069、1070	500	
		荒磯138林道	137、138	500	
基幹	改良	松川内林道	1004	100	改良等
		黒仁田林道	1005	600	舗装等
		白土林道	1006、1007	1,300	舗装等
		北山林道	1010	500	舗装等
		溝辺林道	1016	500	舗装等
		溝辺林道（前平側）	1014、1015	1,200	舗装等
		野坂林道	1023	500	舗装等
		菱刈林道	3088、3092	1,000	舗装等
		目倉林道	3096	500	舗装等
		日添林道	1044、1046、1048	1,500	舗装等
		日添林道（手洗側）	1042、1050、1077	1,500	舗装等
		新湯林道	1073、1074、1077	1,400	舗装等
		北市野々林道	1086、1087	700	舗装等
		市野々林道	1088	1,000	舗装等
		永野田林道	1089	600	舗装等
		湯ノ谷林道	1066	300	舗装等
その他	改良	松川内林道4支線	1004	100	改良等
		権現段1007林道	1007	1,000	舗装等
		金目塚1010林道	1008	300	舗装等
		永尾1018林道	1018	300	舗装等
		段ノ頭林道24支線	1024	100	改良等
		幸田頭林道	1028、1029	1,000	舗装等
		幸田頭林道安良支線	1028	500	舗装等

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路 線 名	箇所（林班）	延 長 （ m ）	備 考
		国見林道	1031	700	舗装等
		岩瀬戸林道	1027	1,000	舗装等
		作鹿倉林道68支線	3070、3071	500	舗装等
		山田林道	3095	500	舗装等
		日添林道47支線	1044	500	舗装等
		烏帽子岳林道	1067、1071～1073	1,500	舗装等
計	開設			6,800	8路線
	改良			21,200	41箇所

#### 5 治山に関する事項

位 置 （ 林 班 ）	区 分	工 種	計 画 量 （箇所数又は面積）
131、138、1035、1039、1043、1046、 1048、1049、1066、1070、1081、 1083、1089、3092、3099	保安林整備	本数調整伐	61ha
1004、1005、1009、1014、1016～ 1019、1021、1023、1026、1027、 1029、1033～1036、1039、1041、 1043、1044、1047、1061、1065、 1066、1071、1077、1080～1089	保全施設	溪間工	43箇所
136、1007～1009、1014、1016、 1034、1060、1063、1065、1066、 1072、1073、1079、1087～1089	保全施設	山腹工	12箇所
合 計	保安林整備		61ha
	保全施設		55箇所

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

区分	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等	備考
生物群集保護林	霧島山	1904.83	1042イ、 1050れ、そ～な、 1052い～ち1、 1053へ～る、 1055よ1～ね、ロ、 1057り1、ぬ1～よ、 1058よ1～ね、イ、ロ、 ニ、ニ1、 1059れ～む、イ、 1060い～へ、イ～ハ、 1061い～は、イ、 1062い～よ、イ～ト、 1063い～か、イ～ラ、 1064い～る、 1065り～そ、ね、な、む～ く、 1066ね、 1072た～そ1、け、ハ～ ホ、 1073い～う、イ～ハ、 1074い～ん7、イ、ロ、 1075い～り、 1076い、ろ、 1077い～か、イ、 1078い1、に、 に1、ほ3、へ、わ、イ、 ロ、 1079い～ろ1、へ、と1、 り、わ、 1085い～り1、イ～ホ、 3055い～は、イ	宮崎と鹿児島県の県境に連なり、固有種をはじめ多様性に富む豊かな森林生態系を持つ霧島山系の鹿児島県側の区域。標高500mから標高1,100mの地域には、モミ、ツガ、アカマツ、カシ類、イスノキ群系（霧島山暖帯性上位植生）がみられ、標高1,100m以上の高地には、ハリモミ、アカマツ、ブナ、ミズナラ、スズタケ群系（霧島山温帯性植生）がみられる。 また、500m以下はイチイガシ群集がみられ、暖温帯から冷温帯までの垂直分布を有する。霧島山固有の植物種やノカイドウ等貴重な種が保存されている。	
計	1箇所	1904.83			
希少個体群保護林	川添タブノキ等遺伝資源	79.26	3070い、 3071い、ほ、 3072る	タブノキ、イスノキ、アカガシの常緑広葉樹林と標高が上がると落葉広葉樹林からなる高齢の天然林で、通常は照葉樹林帯の低標高に見られるタブノキ林が標高の高い雲霧帯の位置にもあり、このタブノキ林を中心に多くの着生植物が見られ変化に富む森林。	
計	1箇所	79.26			
合計	2箇所	1984.09			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名称	延長 (km)	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等	備考
	該当なし				

7 樹木採取区の名称、所在地及び面積

名 称	所 在 地 ( 林 小 班 )	面 積 (ha)	備 考
該当なし			

8 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	面積 (ha)	位 置 ( 林 小 班 )	選定理由	施業方法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備考
	該当なし							

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

名 称	対 象 地 ( 林 小 班 )	面 積 ( ha )	協 定 の 概 要
始良西部地域 森林共同施業団地	民		協定名：始良西部地域森林整備推進協定 協定相手方：始良市、霧島市、始良西部森林組合
	国	1003～1024	
合 計	民		1箇所
	国	1003～1024	

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

名 称	区 域 ( 林 小 班 )	面 積 ( ha )	森 林 施 業 の 種 類	林 道 の 開 設 等	設 定 年 及 び 有 効 期 限	備考
該当なし	民					
	国					

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年度	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	天然林施業指標林	S61	1.42	3073ぬ	シデ
		H1	4.12	1016や	広葉樹
	択伐施業指標林	S63	5.21	1059れ	モミ ツガ アカマツ
	間伐施業指標林	H1	4.06	1043れ	スギ
技術開発試験地	万膳第一号収穫試験地	S27	0.47	1044け	ヒノキ
			0.54	1047ほ	
	川添収穫試験地	S38	0.82	1033た	スギ
	新燃岳噴火跡森林 動態観測試験地	H26	0.20	1080よ2	アカマツ スギ
			0.20	1085に2	
			0.10	1085り1	
次代検定林	九熊本第77号 (一般次代検定林)	S55	1.01	1032る	スギ
	九熊本第115号 (育種集団林)	H3	0.95	1090り2	スギ
遺伝子保存林	ヒノキ加治木署 字川平第1号	S44	0.95	1013わ1	ヒノキ
	ヒノキ加治木署 字段之頭第2号	S45	1.61	1024け1	ヒノキ

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設 定 の 目 的	備 考
1032れ～ら	ふれあいの森	平成28年3月31日協定 吉松自然を考える会 「きりしまヤイロの森」
1082い	社会貢献の森	令和4年8月8日協定 かごしま持続可能な次世代の杜協 議会 「かごしま持続可能な次世代の杜」
1082い1		令和6年10月8日協定 霧島・星降る森林協議会 「霧島・星降る森林 <sup>もり</sup> 」

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置 （ 林 小 班 ）	面積 (ha)	施 業 方 法
1032た、1034ほ、ぬ～わ、よ、 1080は、ほ～ち、よ1	20.53	育成複層林へ導くための施業
1032ち～ぬ、か、よ、ら1、1034へ、ち、 か、た～ね、1080た1	121.51	天然生林へ導くための施業
1032ハ、1034ロ、ハ	0.62	林地以外の土地
計	142.66	

注 ふれあいの森その他森林空間利用タイプに設定している施業指標林、試験地等を除く。

# 附 属 资 料



1 国有林野の現況

(1) 担当区別の区域及び面積

(単位：面積 ha)

担当区	関係 市町村	要 存 地 林 野		不要存 置林野 面積	官 行 造林地 面積
		面 積	関係林小班		
溝 辺	霧島市	1,263.16	1011～1024	—	—
	始良市	788.53	1003～1010	0.06	42.09
計		2,051.69		0.06	42.09
栗 野	霧島市	152.56	1025～1026	—	32.68
	湧水町	3,032.77	1027～1037、1039～1041、 1043、1113～1116、 3070～3073、3086～3088、 3092、3094～3096、3099	—	23.38
計		3,185.33		—	56.06
牧園	霧島市	2,264.46	1042、1044～1065、 1066い～ね、 1067い～お3、イ～ニ、 1068い～ね、ら、イ、ロ、 1069、1071そ、1072く～け、 1073に～う、イ～ハ、3055	16.67	164.63
計		2,264.46		16.67	164.63
霧島	霧島市	3,450.25	126～131、136～138、1066な、 1067く、1068な、1070、 1071い～れ、つ、ね、イ～ハ、 1072い～お、イ～へ、 1073い～は1、1074～1091	12.30	10.79
計		3,450.25		12.30	10.79
合計		10,951.73		29.03	273.57

## (2) 保安林、自然公園等の面積

(単位：面積 ha)

種類及び区分		森林管理署別			
		鹿児島		合計	
保安林	水源かん養保安林		9,747.88		9,747.88
	土砂流出防備保安林	(4.25)	468.39	(4.25)	468.39
	土砂崩壊防備保安林	(51.14)	19.08	(51.14)	19.08
	飛砂防備保安林				
	防風保安林				
	水害防備保安林				
	潮害防備保安林				
	干害防備保安林				
	防雪保安林				
	防霧保安林				
	なだれ防止保安林				
	落石防止保安林				
	防火保安林				
	魚つき保安林				
	航行目標保安林				
	保健保安林	(1,263.67)	205.60	(1,263.67)	205.60
	風致保安林				
	計	(1,319.06)	10,440.95	(1,319.06)	10,440.95
	保安施設地区				
	砂防指定地	(21.40)	2.04	(21.40)	2.04
国立公園	特別保護地区	(715.43)	49.40	(715.43)	49.40
	第一種特別地域	(617.77)	3.18	(617.77)	3.18
	第二種特別地域	(413.42)	11.51	(413.42)	11.51
	第三種特別地域	(983.85)	17.55	(983.85)	17.55
	地種区分未定特別地域				
計	(2,730.47)	81.64	(2,730.47)	81.64	
国定公園	特別保護地区				
	第一種特別地域				
	第二種特別地域				
	第三種特別地域				
	地種区分未定特別地域				
計					
都道府県立自然公園	第一種特別地域				
	第二種特別地域				
	第三種特別地域				
	地種区分未定特別地域				
	計				
原生自然環境保全地域					
自然環境保全地域特別地区					
都道府県自然環境保全地域特別地区					
鳥獣保護区特別保護地区	(1,273.61)		(1,273.61)		
都市緑地保全法による緑地保全地区					
都市計画法による風致地区					
林業種苗法による特別母樹林					
史跡名勝天然記念物	(61.63)	0.19	(61.63)	0.19	
種の保存法による管理地区					
その他の制限林					
制限林計	(5,406.17)	10,524.82	(5,406.17)	10,524.82	
普通林	国立公園普通地区	(1,830.91)	124.91	(1,830.91)	124.91
	国定公園普通地区				
	都道府県立自然公園普通地区				
	自然環境保全地域普通地区				
	都道府県自然環境保全地域普通地区				
	鳥獣保護区普通地区	(2,610.25)	22.63	(2,610.25)	22.63
	種の保存法による監視地区				
	その他の法指定地域(普通林)				
普通林計	(4,441.16)	147.54	(4,441.16)	147.54	
法指定地域合計	(9,847.33)	10,672.36	(9,847.33)	10,672.36	

注 ( ) 書きは、重複分。

(3) 林況（林種別齡級別面積、材積及び成長量）

森林計画区：151 始良

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>、成長量 m<sup>3</sup>/年)

区分			総数			1 齡 級			2 齡 級			
			面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	
林地	人	育成 単層林	N		2,144,127	48,904.4						
			L		159,637	1,518.2						
			計	6,419.30	2,303,764	50,422.6	179.37		80.55			
	工	育成 複層林	N		177,376	2,914.4						
			L		9,290	67.0						
			計	(537.79) 471.05	186,666	2,981.4	146.09		154.59			
	林	計	N		2,321,503	51,818.8						
			L		168,927	1,585.2						
			計	6,890.35	2,490,430	53,404.0	325.46		235.14			
	天然	育成 単層林	N		405	8.5						
			L		1,618	49.5						
			計	21.98	2,023	58.0	3.19		4.27			
		育成 複層林	N		4,137	44.3						
			L		8,355	42.7						
			計	43.37	12,492	87.0						
		天生	林	N		314,807	233.1					
				L		523,776	2,666.0					
				計	3,419.48	838,583	2,899.1			0.07		
		計	N		319,349	285.9						
			L		533,749	2,758.2						
計			3,484.83	853,098	3,044.1	3.19		4.34				
竹林												
無立木	地	N										
		L										
		計	72.51									
計	N		2,640,852	52,104.7								
	L		702,676	4,343.4								
	計	10,447.69	3,343,528	56,448.1	328.65		239.48					
林地 以外 の 土地	附帯地 貸地 雑地		155.38									
			84.29									
			186.31									
	計	N										
合 計	計	L										
		計	425.98									
		N		2,640,852	52,104.7							
合 計	計	L		702,676	4,343.4							
		計	10,873.67	3,343,528	56,448.1	328.65		239.48				

注1 ( ) は、複層林の上木面積。  
 2 材積には、点生木及び被害木を含む。

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>、成長量 m<sup>3</sup>/年)

区分			3 齢 級			4 齢 級			5 齢 級				
			面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>		
林地	人 工 林	育成 単層林	N		1,793	336.7		1,011	155.0		2,979	346.3	
			L		27	2.9		899	69.5		2,396	136.3	
			計	73.06	1,820	339.6	28.24	1,910	224.5	50.16	5,375	482.6	
		育成 複層林	N		2,950	558.7						87	4.5
			L										
			計	121.25	2,950	558.7				2.23	87	4.5	
	計	N		4,743	895.4		1,011	155.0		2,979	346.3		
		L		27	2.9		899	69.5		2,483	140.8		
		計	194.31	4,770	898.3	28.24	1,910	224.5	52.39	5,462	487.1		
	天 然 林	育成 単層林	N										
			L		207	19.4							
			計	4.64	207	19.4							
		育成 複層林	N										
			L										
			計										
		天 生 林	N										
			L					160	11.3		885	51.2	
			計				2.34	160	11.3	9.95	885	51.2	
		計	N										
			L		207	19.4		160	11.3		885	51.2	
			計	4.64	207	19.4	2.34	160	11.3	9.95	885	51.2	
竹 林													
無立木地	N												
	L												
	計												
計	N		4,743	895.4		1,011	155.0		2,979	346.3			
	L		234	22.3		1,059	80.8		3,368	192.0			
	計	198.95	4,977	917.7	30.58	2,070	235.8	62.34	6,347	538.3			
林地 以外 の 土地	附帯地 貸地 雑地	N											
		L											
		計											
合 計	N		4,743	895.4		1,011	155.0		2,979	346.3			
	L		234	22.3		1,059	80.8		3,368	192.0			
	計	198.95	4,977	917.7	30.58	2,070	235.8	62.34	6,347	538.3			

注1 ( ) は、複層林の上木面積。

注2 材積には、点生木及び被害木を含む。

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>、成長量 m<sup>3</sup>/年)

区分			6 齢 級			7 齢 級			8 齢 級			
			面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	
林地	人工林	育成 単層林	N	25,595	2,383.0		40,250	2,709.3		84,160	3,963.3	
			L	2,060	90.8		4,388	132.3		3,893	92.5	
			計	116.71	27,655	2,473.8	143.08	44,638	2,841.6	246.79	88,053	4,055.8
		育成 複層林	N		1,386	92.4		234	14.7		379	20.8
			L		171	6.9		519	15.8			
			計	8.85	1,557	99.3	4.32	753	30.5	1.15	379	20.8
	計	N		26,981	2,475.4		40,484	2,724.0		84,539	3,984.1	
		L		2,231	97.7		4,907	148.1		3,893	92.5	
		計	125.56	29,212	2,573.1	147.40	45,391	2,872.1	247.94	88,432	4,076.6	
	天然林	育成 単層林	N									
			L				127	4.1		688	16.5	
			計				0.96	127	4.1	4.18	688	16.5
		育成 複層林	N									
			L									
			計									
		天然 生林	N		200	17.3		87	5.0			
			L		9,112	396.6		21,331	693.8		29,867	737.6
			計	71.99	9,312	413.9	159.52	21,418	698.8	201.87	29,867	737.6
		計	N		200	17.3		87	5.0			
			L		9,112	396.6		21,458	697.9		30,555	754.1
			計	71.99	9,312	413.9	160.48	21,545	702.9	206.05	30,555	754.1
竹林												
無立木地	N											
	L											
	計											
計	N		27,181	2,492.7		40,571	2,729.0		84,539	3,984.1		
	L		11,343	494.3		26,365	846.0		34,448	846.6		
	計	197.55	38,524	2,987.0	307.88	66,936	3,575.0	453.99	118,987	4,830.7		
林地 以外の 土地	附帯地 貸地 雑地	N										
		L										
		計										
合 計	N		27,181	2,492.7		40,571	2,729.0		84,539	3,984.1		
	L		11,343	494.3		26,365	846.0		34,448	846.6		
	計	197.55	38,524	2,987.0	307.88	66,936	3,575.0	453.99	118,987	4,830.7		

注1 ( ) は、複層林の上木面積。

2 材積には、点生木及び被害木を含む。

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>、成長量 m<sup>3</sup>/年)

区分			9 齢 級			10 齢 級			11 齢 級			
			面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	
林地	人 工 林	育成 単層林	N	278,898	9,833.3		310,205	8,484.6		328,593	6,931.7	
			L		8,171	145.1		8,897	126.7		12,582	142.1
			計	675.60	287,069	9,978.4	718.44	319,102	8,611.3	846.69	341,175	7,073.8
		育成 複層林	N								14,352	306.7
			L							( 43.32)		
			計								14,352	306.7
	計	N		278,898	9,833.3		310,205	8,484.6		342,945	7,238.4	
		L		8,171	145.1		8,897	126.7		12,582	142.1	
		計	675.60	287,069	9,978.4	718.44	319,102	8,611.3	846.69	355,527	7,380.5	
	天 然 林	育成 単層林	N								405	8.5
			L		596	9.5						
			計	3.72	596	9.5				1.02	405	8.5
		育成 複層林	N									
			L									
			計									
		天 生 林	N		143	5.9		376	8.2		20	
			L		9,401	171.9		3,329	44.2		6,265	70.8
			計	55.30	9,544	177.8	25.01	3,705	52.4	32.33	6,285	70.8
		計	N		143	5.9		376	8.2		425	8.5
			L		9,997	181.4		3,329	44.2		6,265	70.8
			計	59.02	10,140	187.3	25.01	3,705	52.4	33.35	6,690	79.3
竹 林												
無立木地	N											
	L											
	計											
計	N		279,041	9,839.2		310,581	8,492.8		343,370	7,246.9		
	L		18,168	326.5		12,226	170.9		18,847	212.9		
	計	734.62	297,209	10,165.7	743.45	322,807	8,663.7	880.04	362,217	7,459.8		
林地 以外 の 土地	附帯地 貸地 雑地	N										
		L										
		計										
合 計	N		279,041	9,839.2		310,581	8,492.8		343,370	7,246.9		
	L		18,168	326.5		12,226	170.9		18,847	212.9		
	計	734.62	297,209	10,165.7	743.45	322,807	8,663.7	880.04	362,217	7,459.8		

注1 ( ) は、複層林の上木面積。

2 材積には、点生木及び被害木を含む。

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>、成長量 m<sup>3</sup>/年)

区分			1 2 齢 級			1 3 齢 級			1 4 齢 級			
			面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	
林地	人	育成 単層林	N	368,236	6,172.7	323,167	4,351.8		179,404	1,941.4		
			L	15,192	138.1	19,634	145.1		27,682	166.3		
			計	980.87	383,428	6,310.8	863.36	342,801	4,496.9	557.79	207,086	2,107.7
	工	育成 複層林	N		19,133	276.6		72,083	983.4		47,661	536.9
			L					1,576	11.8		2,045	12.3
			計	( 49.52) 10.13	19,133	276.6	( 195.75) 10.79	73,659	995.2	( 120.68) 11.65	49,706	549.2
	林	計	N		387,369	6,449.3		395,250	5,335.2		227,065	2,478.3
			L		15,192	138.1		21,210	156.9		29,727	178.6
			計	991.00	402,561	6,587.4	874.15	416,460	5,492.1	569.44	256,792	2,656.9
	天然 林	育成 単層林	N									
			L									
			計									
		育成 複層林	N		84	1.4					1,228	15.2
			L		157	1.4					3,647	21.9
			計	0.84	241	2.8				13.62	4,875	37.1
		天生 然林	N		383	5.9		2,072	24.6		4,526	43.0
			L		3,480	31.2		20,440	152.3		15,473	93.0
			計	16.26	3,863	37.1	103.18	22,512	176.9	90.41	19,999	136.0
		計	N		467	7.3		2,072	24.6		5,754	58.2
			L		3,637	32.6		20,440	152.3		19,120	114.9
			計	17.10	4,104	39.9	103.18	22,512	176.9	104.03	24,874	173.1
竹林												
無立木地	N											
	L											
	計											
計	N		387,836	6,456.6		397,322	5,359.8		232,819	2,536.5		
	L		18,829	170.7		41,650	309.2		48,847	293.5		
	計	1,008.10	406,665	6,627.3	977.33	438,972	5,669.0	673.47	281,666	2,830.0		
林地 以外の 土地	附帯地 貸地 雑地	N										
		L										
		計										
合 計	計	N		387,836	6,456.6		397,322	5,359.8		232,819	2,536.5	
		L		18,829	170.7		41,650	309.2		48,847	293.5	
		計	1,008.10	406,665	6,627.3	977.33	438,972	5,669.0	673.47	281,666	2,830.0	

注1 ( )は、複層林の上木面積。

2 材積には、点生木及び被害木を含む。

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>、成長量 m<sup>3</sup>/年)

区 分			1 5 齢 級			1 6 齢 級			1 7 齢 級			
			面積 ha	材 積 m <sup>3</sup>	成 長 量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材 積 m <sup>3</sup>	成 長 量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材 積 m <sup>3</sup>	成 長 量 m <sup>3</sup>	
林地	人	育成 単層林	N	112,658	1,035.8		24,961	185.6		9,330	51.8	
			L	17,981	89.9		6,885	27.7		3,561	10.6	
			計	403.18	130,639	1,125.7	94.31	31,846	213.3	46.95	12,891	62.4
		育成 複層林	N		8,817	87.5		2,349	17.3			
			L		1,906	9.5		637	2.6			
			計	( 33.85)	10,723	97.0	( 10.43)	2,986	19.9			
	計	N		121,475	1,123.3		27,310	202.9		9,330	51.8	
		L		19,887	99.4		7,522	30.3		3,561	10.6	
		計	403.18	141,362	1,222.7	94.31	34,832	233.2	46.95	12,891	62.4	
	然 林	育成 単層林	N									
			L									
			計									
		育成 複層林	N		2,380	25.7		97	0.9			
			L		3,624	18.1		113	0.5			
			計	18.72	6,004	43.8	0.74	210	1.4			
		天 生 然 林	N		7,137	58.5		7,100	44.1		2,847	14.1
			L		18,708	93.3		14,353	57.4		15,170	45.8
			計	99.67	25,845	151.8	91.06	21,453	101.5	74.82	18,017	59.9
		計	N		9,517	84.2		7,197	45.0		2,847	14.1
			L		22,332	111.4		14,466	57.9		15,170	45.8
			計	118.39	31,849	195.6	91.80	21,663	102.9	74.82	18,017	59.9
竹 林												
無立木地	N											
	L											
	計											
計	N		130,992	1,207.5		34,507	247.9		12,177	65.9		
	L		42,219	210.8		21,988	88.2		18,731	56.4		
	計	521.57	173,211	1,418.3	186.11	56,495	336.1	121.77	30,908	122.3		
林地 以外 の 土地	附帯地 貸地 雑地	N										
		L										
		計										
合 計	N		130,992	1,207.5		34,507	247.9		12,177	65.9		
	L		42,219	210.8		21,988	88.2		18,731	56.4		
	計	521.57	173,211	1,418.3	186.11	56,495	336.1	121.77	30,908	122.3		

注1 ( ) は、複層林の上木面積。

2 材積には、点生木及び被害木を含む。

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>、成長量 m<sup>3</sup>/年)

区 分			18 齢 級			19 齢 級			20 齢 級			
			面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>	
林地	人	育成 単層林	N	4,065	10.1		1,744	4.4		11,836	7.6	
			L	1,193	1.7		965	0.6		8,422		
			計	18.55	5,258	11.8	9.64	2,709	5.0	67.73	20,258	7.6
		育成 複層林	N		4,139	19.4					429	
			L	(	1,783	3.6				(	438	
			計	18.62)	5,922	23.0				2.23)	867	
	計	N		8,204	29.5		1,744	4.4		12,265	7.6	
		L		2,976	5.3		965	0.6		8,860		
		計	18.55	11,180	34.8	9.64	2,709	5.0	67.73	21,125	7.6	
	天然 林	育成 単層林	N									
			L									
			計									
		育成 複層林	N		348	1.1						
			L		814	0.8						
			計	9.45	1,162	1.9						
		天然 林	N		543	2.1		3,848	4.2		20,772	0.2
			L		4,384	8.7		14,971	6.9		15,343	
			計	24.72	4,927	10.8	71.54	18,819	11.1	139.96	36,115	0.2
		計	N		891	3.2		3,848	4.2		20,772	0.2
			L		5,198	9.5		14,971	6.9		15,343	
			計	34.17	6,089	12.7	71.54	18,819	11.1	139.96	36,115	0.2
竹林												
無立木地	N											
	L											
	計											
計	N		9,095	32.7		5,592	8.6		33,037	7.8		
	L		8,174	14.8		15,936	7.5		24,203			
	計	52.72	17,269	47.5	81.18	21,528	16.1	207.69	57,240	7.8		
林地 以外の 土地	附帯地 貸地 雑地	N										
		L										
		計										
合 計	N		9,095	32.7		5,592	8.6		33,037	7.8		
	L		8,174	14.8		15,936	7.5		24,203			
	計	52.72	17,269	47.5	81.18	21,528	16.1	207.69	57,240	7.8		

注1 ( ) は、複層林の上木面積。

2 材積には、点生木及び被害木を含む。

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>、成長量 m<sup>3</sup>/年)

区 分			2 1 齢 級 以 上			
			面 積	材 積	成 長 量	
			ha	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
林地	人	育成 単層林	N		35,242	
			L		14,809	
			計	218.23	50,051	
	工	育成 複層林	N		3,464	
			L	( 63.39)	128	
			計		3,592	
	林	計	N		38,706	
			L		14,937	
			計	218.23	53,643	
	然	天	育成 単層林	N		
				L		
				計		
		然	育成 複層林	N		
				L		
				計		
		林	天然 生林	N		264,753
				L		321,104
				計	2,149.48	585,857
		計	計	N		264,753
				L		321,104
				計	2,149.48	585,857
竹林						
無立木地	計	N				
		L				
		計				
計	計	N		303,459		
		L		336,041		
		計	2,367.71	639,500		
林地 以外 の 土地	附帯地 貸地 雑地	N				
		L				
		計				
合 計	計	N		303,459		
		L		336,041		
		計	2,367.71	639,500		

注1 ( ) は、複層林の上木面積。

2 材積には、点生木及び被害木を含む。

## 2 機能類型別の国有林野の現況

森林計画区：151 始良

(単位：面積 ha、材積 m)

機能類型 林種		山地災害防止タイプ					快適環境形成タイプ		水源涵養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計		
		土砂流出崩壊防備		気象害防備		計		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
人工林	育成単層林	516.40	195,183			516.40	195,183			5,559.98	2,004,084	315.52	96,246	27.40	8,251	6,419.30	2,303,764
	育成複層林	51.25	19,644			51.25	19,644			489.44	164,003	8.42	3,019			549.11	186,666
	小計	567.65	214,827			567.65	214,827			6,049.42	2,168,087	323.94	99,265	27.40	8,251	6,968.41	2,490,430
天然林	育成単層林									21.98	2,023					21.98	2,023
	育成複層林	14.90	5,017			14.90	5,017			28.47	7,475					43.37	12,492
	天然生林	398.00	90,265			398.00	90,265			1,327.05	263,185	1,572.92	441,529	121.51	43,604	3,419.48	838,583
	小計	412.90	95,282			412.90	95,282			1,377.50	272,683	1,572.92	441,529	121.51	43,604	3,484.83	853,098
無立木地		4.70				4.70				67.81						72.51	
竹林																	
林地計		985.25	310,109			985.25	310,109			7,494.73	2,440,770	1,896.86	540,794	148.91	51,855	10,525.75	3,343,528
林地以外		56.59				56.59				237.00		129.28		3.11		425.98	
合計		1,041.84	310,109			1,041.84	310,109			7,731.73	2,440,770	2,026.14	540,794	152.02	51,855	10,951.73	3,343,528

注1 <>は、機能類型区分外で内書き。

2 ( )は、竹林の面積及び材積で外書き。

3 林道等の現況

(単位：km)

区 分	林 道			作業道
	自動車道	軽車道	合 計	
延 長	159	—	159	—

4 収穫予想表

「別表1」のとおり

5 地元施設等の現況

(単位：ha)

区 分		面 積
分収造林契約に基づく分収林		344.80
分収育林契約に基づく分収林		15.95
共 用 林 野	普 通	—
	薪 炭	—
	放 牧	—
	合 計	—
貸  地	植 樹 用 地	—
	農 耕 用 地	1.10
	鉱 業 用 地	—
	道 路 用 地	39.65
	水 路 用 地	3.86
	電 気 事 業 用 地	14.57
	温 鉱 泉 用 地	1.20
	採 草 放 牧 用 地	4.33
	学 校 用 地	—
	建 物 用 地	1.34
	そ の 他 貸 地	18.24
	合 計	84.29

別表1 収穫予想表 始良森林計画区

林 齢	樹 種		ス ギ				地 位			2					
	主 林 木		副 林 木				主 副 林 木 合 計								
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 た り				h a 当 た り			h a 当 た り					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	%	
10	5.7	3.2		16		1.6					16		16	1.6	
					3.2						5.8				19.0
15	8.7	5.4	2,150	32		2.1	1,000	13	13	3,150	45		45	3.0	
					6.6						9.6				17.0
20	11.7	7.5	1,680	65		3.3	470	15	28	2,150	80		93	4.7	
					8.8						12.0				12.6
25	14.4	9.5	1,420	109		4.4	260	16	44	1,680	125		153	6.1	
					10.6						14.4				9.9
30	16.8	11.3	1,235	162		5.4	185	19	63	1,420	181		225	7.5	
					10.0						14.2				7.2
35	18.9	12.9	1,100	212		6.1	135	21	84	1,235	233		296	8.5	
					8.0						12.0				5.0
40	20.8	14.3	1,000	252		6.3	100	20	104	1,100	272		356	8.9	
					6.0						9.6				3.5
45	22.5	15.5	925	282		6.3	75	18	122	1,000	300		404	9.0	
					5.0						8.2				2.7
50	24.0	16.5	865	307		6.1	60	16	138	925	323		445	8.9	
					4.4						7.4				2.3
55	25.3	17.3	815	329		6.0	50	15	153	865	344		482	8.8	
					3.8						6.4				1.9
60	26.4	17.9	775	348		5.8	40	13	166	815	361		514	8.6	
					3.4						5.6				1.5
65	27.3	18.4	745	365		5.6	30	11	177	775	376		542	8.3	
					3.0						4.6				1.2
70	28.0	18.8	725	380		5.4	20	8	185	745	388		565	8.1	
					2.8						4.0				1.0
75	28.5	19.2	710	394		5.3	15	6	191	725	400		585	7.8	
					2.6						3.4				0.8
80	28.8	19.6	700	407		5.1	10	4	195	710	411		602	7.5	

林 齡	樹 種		ヒノキ				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 たり				h a 当 たり			h a 当 たり					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	%	
10	4.8	3.4		16		1.6					16		16	1.6	
					3.6							5.6			18.7
15	7.3	5.4	2,450	34		2.3	1,150	10	10	3,600	44		44	2.9	
					5.4							7.6			14.3
20	9.9	7.5	1,890	61		3.1	560	11	21	2,450	72		82	4.1	
					7.8							10.0			11.6
25	12.5	9.5	1,610	100		4.0	280	11	32	1,890	111		132	5.3	
					10.4							12.8			9.6
30	15.0	11.2	1,420	152		5.1	190	12	44	1,610	164		196	6.5	
					9.2							12.0			6.6
35	17.2	12.6	1,275	198		5.7	145	14	58	1,420	212		256	7.3	
					8.0							10.8			4.8
40	19.1	13.8	1,165	238		6.0	110	14	72	1,275	252		310	7.8	
					6.8							9.4			3.6
45	20.7	14.8	1,080	272		6.0	85	13	85	1,165	285		357	7.9	
					5.6							8.0			2.7
50	22.0	15.6	1,015	300		6.0	65	12	97	1,080	312		397	7.9	
					4.4							6.4			2.0
55	23.0	16.3	965	322		5.9	50	10	107	1,015	332		429	7.8	
					3.6							5.4			1.6
60	23.7	16.9	925	340		5.7	40	9	116	965	349		456	7.6	
					2.8							4.2			1.2
65	24.2	17.4	895	354		5.4	30	7	123	925	361		477	7.3	
					2.4							3.4			0.9
70	24.6	17.8	875	366		5.2	20	5	128	895	371		494	7.1	
					2.2							3.0			0.8
75	25.0	18.1	860	377		5.0	15	4	132	875	381		509	6.8	
					2.0							2.6			0.7
80	25.4	18.3	850	387		4.8	10	3	135	860	390		522	6.5	

林 齡	樹 種		マ ツ				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高直 径	平均 樹高	h a 当 たり				h a 当 たり			h a 当 たり					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	%	
10	5.3	3.6		18		1.8					18		18	1.8	
					4.4						5.6			17.5	
15	7.8	5.7	2,855	40		2.7	1,290	6	6	4,145	46		46	3.1	
					6.4						8.2			13.6	
20	10.8	7.6	2,148	72		3.6	707	9	15	2,855	81		87	4.4	
					7.0						9.2			10.1	
25	13.3	9.3	1,728	107		4.3	420	11	26	2,148	118		133	5.3	
					6.6						9.0			6.9	
30	15.5	10.6	1,433	140		4.7	295	12	38	1,728	152		178	5.9	
					5.0						7.6			4.8	
35	17.7	11.8	1,210	165		4.7	223	13	51	1,433	178		216	6.2	
					4.0						6.6			3.6	
40	19.5	12.7	1,038	185		4.6	172	13	64	1,210	198		249	6.2	
					3.0						5.4			2.7	
45	21.1	13.5	908	200		4.4	130	12	76	1,038	212		276	6.1	
					2.2						4.4			2.1	
50	22.7	14.2	805	211		4.2	103	11	87	908	222		298	6.0	
					1.8						3.8			1.7	
55	23.9	14.8	728	220		4.0	77	10	97	805	230		317	5.8	
					1.4						3.2			1.4	
60	25.2	15.3	665	227		3.8	63	9	106	728	236		333	5.6	
					0.8						2.6			1.1	
65	26.3	15.9	613	231		3.6	52	9	115	665	240		346	5.3	
					0.6						2.2			0.9	
70	27.1	16.3	573	234		3.3	40	8	123	613	242		357	5.1	
					0.6									0.8	
75	27.8	16.6	543	237		3.2	30	6	129	573	243		366	4.9	
					0.2						1.4			0.6	
80	28.0	16.8	513	238		3.0	30	6	135	543	244		373	4.7	

林 齡	樹 種		広葉樹				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 た り				h a 当 た り			h a 当 た り					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	%	
10	4.7	4.2	30		3.0					30		30	3.0		
					4.0							4.0		10.0	
15	5.6	4.8	50		3.3					50		50	3.3		
					4.8							4.8		7.7	
20	6.5	5.4	74		3.7					74		74	3.7		
					5.0							5.0		5.8	
25	7.3	6.0	99		4.0					99		99	4.0		
					4.6							4.6		4.2	
30	8.1	6.5	122		4.1					122		122	4.1		
					4.2							4.2		3.2	
35	8.8	7.0	143		4.1					143		143	4.1		
					3.6							3.6		2.4	
40	9.5	7.5	161		4.0					161		161	4.0		
					3.0							3.0		1.8	
45	10.1	7.8	176		3.9					176		176	3.9		
					2.6							2.6		1.4	
50	10.7	8.3	189		3.8					189		189	3.8		
					2.2							2.2		1.1	
55	11.3	8.7	200		3.6					200		200	3.6		
					1.8							1.8		0.9	
60	11.8	9.1	209		3.5					209		209	3.5		
					1.4							1.4		0.7	
65	12.3	9.4	216		3.3					216		216	3.3		
					1.2							1.2		0.6	
70	12.8	9.7	222		3.2					222		222	3.2		
					1.0							1.0		0.5	
75	13.2	10.0	227		3.0					227		227	3.0		
					0.8							0.8		0.4	
80	13.6	10.3	231		2.9					231		231	2.9		